



2008.10.31

民主党プレス民主編集部

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 TEL:03-3595-9988(代表)  
mail:press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp  
年間購読料:3000円(送料含む) 定価:1部 100円(消費税込み)

民主党埼玉県第13総支部 石井しんいち事務所

〒345-0802 宮代町百間6-583-2 TEL・FAX:0480-32-3988

PRESS MINSHU

号外

宮代版



いし い 宮代町議会議員

# 石井しんいち

## 活動報告

日頃は町政に対しましてご指導、ご協力を賜りまして、ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

**平**成20年度、第4回宮代町議会定例会(9月定例会)は9月4日(木)から10月3日(金)までの30日間にわたり、開かれました。今、議会は、町から平成19年度一般会計決算など7件、平成20年一般会計補正予算など7件、宮代町自転車駐輪場、条例など12件、その他4件、計30件が提案されました。町提出の30議案について審議、採決の結果、すべて原案とおり可決しました。議員提出の意見書2件、住民提出の請願2件は、全会一致ないし、賛成多数にて可決、採択しました。

### 石井しんいち プロフィール

- ▶1948年 東京都江戸川区出身
- ▶1966年 東京都立深川高等学校卒業
- ▶1968年 警視庁警察官拝命
- ▶1994年 KDDI株式会社勤務
- ▶1998年 行政書士登録
- ▶民主党埼玉県第13総支部 幹事

平成20年2月宮代町議会議員当選/総務生活町民委員会副委員長/議会広報委員会副委員長/久喜宮代衛生組合議会議員

## 春日部市を含む枠組みとする

## 合併の推進の決議に関する請願に反対



▶昨年11月27日に実施された、市町村合併に関するアンケートにおいては、宮代町民の77.1%が合併を望むとの事、



■宮代町と杉戸町に架かる清地橋

この結果については、真しに受けとめ町の将来や町民の暮らし、子供たちの未来のため、合併の必要性は強く認めますが、次の理由で反対しました。

①平成16年実施の春日部市を中心とした1市3町

の合併を問う住民投票の反対結果にもかかわらず、なぜ、春日部市を含む枠組み合併を推進するのか、意図が明確でない。

- ②昨年11月実施された、アンケートの枠組みに春日部市との合併に反対した杉戸町を組入れたのは理解できない。
- ③「杉戸町との2町合併」でも良いのではないかと住民の声もある。春日部枠と平行して検討すべき。(採決結果、賛成7、反対6で採択)  
合併の主体は町民、今後町民の皆様が理解、納得できるよう、協議を進めて行きたいと思っております。



## 平成20年9月議会

# 石井しんいち 一般質問要旨

### Q 1 東武動物公園駅東口通り線の拡幅整備検討は

#### A 産業建設課長

- ①埼玉県(杉戸県土整備事務所)が主体となって、平成18年から実施している。検討の区間は東武動物公園駅東口から県道堤根、杉戸線交差点までの約450mである。
- ②駅前広場については、昨年11月に実施した交通量などの結果を踏まえ、おおむね3000~4000㎡程度を目安に、地元住民の方々の意向を把握した上で、地元警察やバス、タクシーなどの交通業者とも協議、調整しながら、今後、具体的な検討を進める。
- ③本年9月6日に地元の関係者など32名、幹事16名からなる、まちづくり協議会が発足し、今後のスケジュール

ルが決定された。今後は、この協議会においてまちの将来像や駅周辺のプラン、事業手法などを住民の皆さんが主体となって検討を進めていく。

- ④本事業の実施に当っては、駅前広場の都市計画決定が一つの要件となる。

同時並行して検討を進めている杉戸町とも歩調を合わせて、概ね5年以内に駅前広場の都市計画決定がなされるように鋭意・検討を進めていきたいと考えている。



東武動物公園駅東口通り

### Q 2 災害時要援護者の安全確保について

▶地震や風水害が起きた場合、介護を必要とする高齢者や障がいのある人などは、避難するのに手助けが必要です。災害時要援護者(以下「要援護者」という。)支援対策について、以下まちの取り組みについてお伺いしたい。(1)本年8月末時点の要援護者登録、把握状況(2)要援護者情報の収集、共有化方法(3)要援護者の個別避難支援計画、マニュアル作成は

#### A 健康福祉課長

- (1) 1人暮らしや高齢者のみの世帯では350名、障がい者は265名、その他は101名計716名の登録者数である。町で把握している要援護者の総数は1126名。今後も引き続き周知を図り、要援護者の登録を推進して行く。
- (2) 災害時要援護者の登録制度は、昨年9月から開始、①本人の希望による手上げ方式②郵送通知による同意方式③民生委員・児童委員の訪問による勧奨と3

段階による登録制度を進めてきた。本人の個人情報に関係機関、自治会や地域防災組織等に提供する旨の同意を取った上で、避難支援プラン(個別計画)作成時に情報漏洩のないよう、地域との協定書を締結し、厳格な管理のもと、地域にその情報を提供して行く。

- (3) 行政が一方向的に決めるのではなく、今後モデル地域を決定し、地域の実情に応じて、避難方法等、地域で話し合いを進めながら決めていくことが重要である。マニュアルについては、今年度末までの作成に向け、現在作業を進めている。

石井しんいち は地域の安全を守ります

## 「地下道に防犯カメラ設置される」

▶6月議会において、通学路、町内危険箇所の防犯対策について質問いたしました。町からは今年度、須賀小および東小付近の地下道に防犯カメラの設置を予定しているとの回答を得ました。町の早々の対応によりまして、本年10月より百間地下道、(東小学校付近)須賀地下道(須賀小学校付近)の2箇所において、稼動を開始しました。



地下道の防犯カメラ

## 森岡 洋一郎氏を次期衆議院選挙 民主党公認に決定



◎民主党は21日、次期衆議院選挙の第2次公認候補33人を発表した。

\* 議会を傍聴しませんか、次回は11月27日開会予定です \*